

東町内会だより
<2020年12月>

WEBサイトからも
ご覧いただけます



◎ 12月6日(日) 組長会議

新型コロナウイルスの感染防止のため、今月も組長会議はテイクアウト方式(会館外で資料配布のみ)で実施しました。

◎ 12月13日(日) 地域防災訓練/和泉中央グランドゴルフ大会

新型コロナウイルスの影響により、今年はいずれも中止となりました。

◎ 12月13日(日) 会館廻りの草むしり(和楽会)

◎ 12月27日(日) 会館大掃除

コロナ感染防止対策のうえ、少人数、短時間で実施しました。



「東町界隈の今昔探訪」

～6～



[文:安西 香(27組)、編集:畑中 祐一(38組)]

～正月の行事～

新年を迎えたら、まず”寒詣り”といって、近くの神社、庚申様、お稲荷等に米を持ってお詣りします。これは、必ず暗いうちに3ヶ日続けて行います。また、元日には、お寺に年賀に行きます。その後は隣近所への挨拶廻りです。子どもたちは、主に男の子は独楽回し、女の子は羽根突きに興じていました。(ちなみに、凧揚げは5月5日[こどもの日]でした。)

7日は七草粥<*1>を作り、神様にあげ、食べる。これは万病を防ぐと云われました。

11日は鏡開きです。お供え餅を切ったお汁粉を食べます。

14日は”どんど焼き”(せいと焼き、さいと焼き、左義長<*2>とも云う)。夕方に、門松、お飾り、書初め、古いお札等を焚きあげますが、この時、三又の木に団子3個を差して焼き、2個は他の人と交換し、残りの1個は持ち帰って食べると風邪をひかない、病気になるないと云われました。

なお、上記は、この辺りの風習であり、地区、また家庭によって違いはありました。次回につづく



<*1> 春の七草(せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ)

<*2> 左義長(さぎちよう、三稜杖)とは、小正月に行われる火祭りの行事。日本全国で広く見られる習俗である。

<1月のイベント予定>

- ◎ 1月上旬 泉区祝賀会、和泉中央連合賀詞交歓会 ⇒コロナの影響で中止
- ◎ 1月10日 伊勢山どんど焼き[伊勢山小学校] ⇒コロナの影響で中止

(個人情報の取り扱い: 本広報では町会員の写真・名前等を使わせていただくことがあります。何卒ご了承ください。)